

令和6年度

教育委員会事務の点検及び評価報告書
(令和5年度実績)

千 曲 市 教 育 委 員 会

目 次

1	はじめに	1
2	実施の方法	2
3	評価シート(主要な施策の評価に関する説明書)	4
4	成果指標	16
5	外部評価での意見・提言とそれに対する考え	19
6	点検及び評価を受けて	22
7	資 料	
	教育長・教育委員	23
	教育委員会基本方針	23
	令和5年度教育委員会議及び議決案件一覧	27
	教育委員会事務分掌	31

1 はじめに

平成 20 年 4 月から、教育委員会は地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することとなりました。

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされており、千曲市では千曲市教育振興審議会による外部評価を加え、点検及び評価を行うこととしています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律【抜粋】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

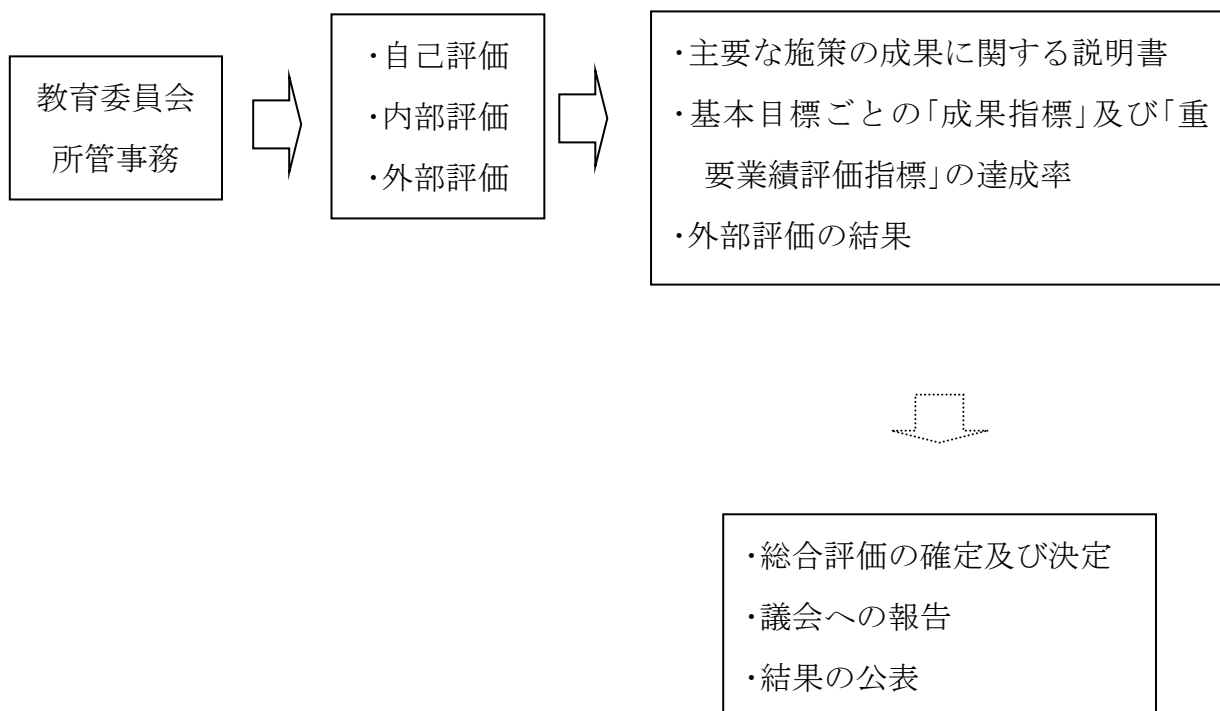
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 実施の方法

(1) 点検及び評価の方法と手順

点検及び評価の対象は、教育委員会の権限に属する事務のうち、前年度に実施した主要施策並びに第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」）の対象事業とします。

- ① 担当課長は、「主要な施策の成果に関する説明書」及び「成果指標」等の内容を踏まえて、**自己評価**をします。
- ② 教育部で自己評価を検証し、主要な施策の成果について**内部評価**をします。
- ③ 千曲市教育振興審議会が、「主要な施策の成果に関する説明書」により、**外部評価**をします。
- ④ 教育委員会において「担当課の評価」及び「外部評価委員会の評価」を踏まえて**総合評価**の確定及び決定をします。



(2) 千曲市教育振興審議会委員

氏 名	役職等		備考
宮崎 樹夫	会 長	信州大学 教授	学識経験者
柳澤 正寿	委 員	千曲市校長会 会長	屋代中学校長
徳武 真弓	委 員	県女性校長会千曲市代表	八幡小学校長
宮原 純平	委 員	更埴PTA連合会 会長	PTA代表
梶浦 麻依子	幹 事	更埴PTA連合会 副会長	PTA代表
合津 誠三	委 員	千曲市公民館運営協議会 会長	生涯学習推進団体
塚田 訓好	幹 事	特定非営利活動法人 千曲市スポーツ協会 会長	スポーツ振興団体
金井 仁	委 員	千曲市文化芸術協会 事務局長	文化振興団体
久保田 英雄	委 員	元県生涯学習文化財課指導主事	歴史文化学識経験者
唐木 文子	副会長	一般公募	公募
河原 才	委 員	一般公募	公募
老月 秀光	委 員	一般公募	公募

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	地域クラブ活動体制整備事業	担当課名	教育総務課
-----	---------------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策1－1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">16,280,885</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td>1,977,405</td></tr> <tr> <td>給料、 職員手当等</td><td>4,354,400 363,772</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td>7,077,350</td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td>600,658</td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>827,750</td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td>796,450</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産 購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助 及び交付金</td><td>283,100</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		16,280,885		節 別 内 訳 (円)		報酬	1,977,405	給料、 職員手当等	4,354,400 363,772	報償費	7,077,350	旅費		需用費	600,658	役務費		委託料	827,750	使用料及び 賃借料	796,450	工事請負費		原材料費		公有財産 購入費		備品購入費		負担金、補助 及び交付金	283,100	扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 - 令和2年9月に文部科学省より「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が示され、令和5年度以降、休日部活動の段階的な地域移行を図ることとされた。 - 千曲市教育委員会・坂城町教育委員会では、中学校部活動の円滑な地域移行を実現するために、「千曲坂城クラブ」を設立。 - このクラブは、中学校部活動に代わる「新たなスポーツ・文化芸術環境を構築する」ことを目指しており、令和5年度より主に休日のクラブ活動の運営を行っている。 【実績】 (千曲坂城クラブの概要) 15の専門部（運動部：12、文化部：3） - クラブ会員数（生徒）：922名 - 指導者登録数：178名 (主な活動内容) - 各専門部で原則月1回以上休日にクラブ活動を実施 ※ 可能な専門部は平日クラブ活動の試行実施 - 運営委員会（4回）、専門部事務局会（2回）、総会 - オンラインによる指導者研修会（7回） - クラブだよりの発行（12回）、ホームページの運営 【成果等】 - 各専門部で活動の回数（休日・平日）に差はあるが、充実した活動ができた。 - 平日移行プロジェクトチームの答申により、今後の見通しが明確となった。 - 他自治体と比較して先行的に活動を始めたこと、また、市町が連携してクラブを設立したことから、全国的にも注目されており、報道や視察、問い合わせが多い。 【今後の方向性】 - 指導者謝金等の事業費が増大していくが、保護者の負担を少しでも軽減し、スポーツ・文化芸術活動をすべての子どもたちに保障し、持続可能なクラブとしていくために、クラブ運営のための安定的な財源確保が必要となる。 ※年会費、国・県の補助金、寄付金、賛助会費の充実。
決 算 額 (円)																																							
16,280,885																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬	1,977,405																																						
給料、 職員手当等	4,354,400 363,772																																						
報償費	7,077,350																																						
旅費																																							
需用費	600,658																																						
役務費																																							
委託料	827,750																																						
使用料及び 賃借料	796,450																																						
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産 購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助 及び交付金	283,100																																						
扶助費																																							
補償、補填 及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td>5,296,269</td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td>(年会費) 2,028,400 (坂城町) 1,403,024</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>7,553,192</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金	5,296,269	地方債		その他	(年会費) 2,028,400 (坂城町) 1,403,024	一般財源	7,553,192																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金	5,296,269																																						
地方債																																							
その他	(年会費) 2,028,400 (坂城町) 1,403,024																																						
一般財源	7,553,192																																						

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	令和5年度千曲市立五加小学校 教室棟増築事業	担当課名	教育総務課
-----	---------------------------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策1－1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">15,688,000</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、 職員手当等</td><td>2,721,500</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>402,600</td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td>12,563,900</td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産 購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助 及び交付金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		15,688,000		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、 職員手当等	2,721,500	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料	402,600	使用料及び 賃借料		工事請負費	12,563,900	原材料費		公有財産 購入費		備品購入費		負担金、補助 及び交付金		扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 ○五加小学校は、学校区内の児童数が増加傾向にあり、現在、保有している普通教室全てを使用している状況である。今後、各年度の学級編成により教室数の不足が見込まれることから、令和5年度から教室棟の増築工事を実施。 【実績】 ○鉄骨造2階建て 延床面積496.14㎡ (1階2教室、2階2教室、計4教室) ○工事期間 令和5年9月～令和6年5月 (令和6年 債務負担行為設定済) ○契約内容 建築主体工事 機械設備工事 電気設備工事 工事監理委託 【成果等】 ○教室棟の完成により、各年度の学級編成における教室の不足が解消され、今後児童数の増減により、様々な学年が利用する事を予定している。 【今後の方向性】 ○教室棟工事の完成については、令和6年5月を予定しており、安全で快適な学習環境を整えるために、一日も早い完成を目指して事業を遂行する。
決 算 額 (円)																																							
15,688,000																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬																																							
給料、 職員手当等	2,721,500																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費																																							
役務費																																							
委託料	402,600																																						
使用料及び 賃借料																																							
工事請負費	12,563,900																																						
原材料費																																							
公有財産 購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助 及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填 及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>12,612,000</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>3,076,000</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	12,612,000	県支出金		地方債		その他		一般財源	3,076,000																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金	12,612,000																																						
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	3,076,000																																						

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	千曲市誕生 20 周年記念事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策 2-1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">6,304,519</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>2,177,200</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td>1,204,550</td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td>1,702,985</td></tr> <tr> <td>役務費</td><td>1,054,784</td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td>165,000</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		6,304,519		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員手当等	2,177,200	報償費	1,204,550	旅費		需用費	1,702,985	役務費	1,054,784	委託料		使用料及び賃借料	165,000	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業概要】 - 千曲市誕生 20 周年を記念して、例年開催している「こども科学教室」「市民講座」の内容を拡充し、「千曲かるた改訂版」の製作を行った。 【実績】 ○市民講座 「学び直し」のすすめ～新たなキャリアを切り拓く～ 講師：いとうまい子氏 会場：信州の幸 あんずホール (出席者 381 名) ○特別こども科学教室 「市岡元気先生のサイエンスライブ」 上山田文化会館 (出席者 705 名) ○「千曲かるた改訂版」の制作 読み札 5 枚を追加し、3,000 セット作成 【成果】 - 市民講座、特別こども科学教室には多くの市民が参加し、千曲市誕生 20 周年を祝うとともに、「千曲かるた」で千曲市の魅力を再発見する機会となった。 【課題等】 「千曲かるた」の普及及び販売促進。
決 算 額 (円)																																							
6,304,519																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬																																							
給料、職員手当等	2,177,200																																						
報償費	1,204,550																																						
旅費																																							
需用費	1,702,985																																						
役務費	1,054,784																																						
委託料																																							
使用料及び賃借料	165,000																																						
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td>2,430,100</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>3,874,419</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他	2,430,100	一般財源	3,874,419																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他	2,430,100																																						
一般財源	3,874,419																																						

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	国際都市交流事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

基本目標Ⅱ 施策4-1

事業費	主要な施策の成果等																																																		
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">820,564</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>544,300</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td>276,264</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>820,564</td></tr> </table>	決 算 額 (円)		820,564		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員手当等	544,300	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料		使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	276,264	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	820,564	【事業概要】 2020年東京オリンピック・パラリンピックでのホストタウン事業を継続・発展するため、30年来の交流を続けてきたハンガリーとの友好交流事業を市民との協働により展開した。 【実績】 ハンガリーにゆかりのある音楽家のコンサートを開催する団体に対し、国際交流推進事業補助金を交付し、音楽や文化を紹介するイベントを支援した。 令和5年6月14日 戸倉上山田中学校にハンガリー国内外で活躍するピアニスト金子三勇士氏と指揮者ホルバート氏が訪問し、吹奏楽部の音楽指導を行った。 令和5年6月15日 「金子三勇士酒蔵トーク&コンサート」を開催した。 観客92名が来場した。 【成果】 未来を担う子どもたちに音楽を通じてハンガリーの文化・芸術を体験し交流することができた。 ハンガリーを中心に活躍する国際的な音楽家によるコンサートを通じて、市民のハンガリーに対する理解が深まった。 【課題等】 今後も市民レベルの交流に対して後援等で協力をしていく。
決 算 額 (円)																																																			
820,564																																																			
節 別 内 訳 (円)																																																			
報酬																																																			
給料、職員手当等	544,300																																																		
報償費																																																			
旅費																																																			
需用費																																																			
役務費																																																			
委託料																																																			
使用料及び賃借料																																																			
工事請負費																																																			
原材料費																																																			
公有財産購入費																																																			
備品購入費																																																			
負担金、補助及び交付金	276,264																																																		
扶助費																																																			
補償、補填及び賠償金																																																			
公課費																																																			
財 源 内 訳 (円)																																																			
国庫支出金																																																			
県支出金																																																			
地方債																																																			
その他																																																			
一般財源	820,564																																																		

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	千曲市誕生 20 周年記念事業	担当課名	文化課
-----	-----------------	------	-----

基本目標Ⅰ 施策 2－3

事業費		主要な施策の成果等		
決算額(円)		【事業目的】		
21,123,584		○千曲市誕生 20 周年を祝い、芸術祭・コンサート・アート展示・漫談落語寄席を実施することで千曲市民へ元気・感動・笑いを届け市民の文化芸術機運を盛上げる。		
節別内訳(円)		【実績】		
報酬		文化会館記念自主文化事業		
給料、職員手当等		第 20 回ハートフルコンサート事業		
報償費		開催日		
旅費		事業名		
需用費		参加者数		
役務費		5/13～14		
委託料		第 14 回千曲市総合芸術祭		
使用料及び賃借料		6/9		
工事請負費		八神純子 L i v e		
原材料費		7/7		
公有財産購入費		華原朋美コンサート		
備品購入費		7/19		
負担金、補助及び交付金		響け！ちくまクラシックミニコンサート		
扶助費		7/30		
補償、補填及び賠償金		響け！ちくまクラシック		
公課費		8/5		
		音と言葉のムコウガワ		
		8/20		
		オペラ笠地蔵		
		9/17 ～ 10/29		
		A S T 展～美術教師×教え子たちの今 それぞれが発信するアートのかたち～		
		11/11		
		漫談&落語寄席 2023in 千曲市		
		1/7 ～ 2/11		
		郷土の杏画家 近藤早苗回顧展～まるで桃源郷 杏の里に生きて～		
		2/25		
		第 20 回ハートフルコンサート		
		計		
		1 1 事業		
		5,961 人		
財源内訳(円)		【成果等】		
国庫支出金		○千曲市民へ文化芸術のすばらしさを伝え大勢の方が感動し、千曲市誕生 20 周年祝いと文化芸術の機運を盛上げた。		
県支出金				
地方債				
その他		【今後の方向性】		
一般財源		○千曲市の文化芸術推進につながる活動と市民交流の場となる活動を継続し千曲市民へ元気と感動等を届ける。次回の千曲市誕生 30 周年のお祝いと文化芸術の機運を盛上げる。		

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	重要伝統的建造物群保存推進事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	-----------------	------	-----------

基本目標Ⅱ 施策Ⅱ－1

事業費	主要な施策の成果等																																																		
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">30,124,680</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td>69,300</td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>5,987,300</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>233,080</td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>1,639,000</td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td>22,196,000</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>11,085,000</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td>664,700</td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td>3,172,000</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>15,202,980</td></tr> </table>	決 算 額 (円)		30,124,680		節 別 内 訳 (円)		報酬	69,300	給料、職員手当等	5,987,300	報償費		旅費	233,080	需用費		役務費		委託料	1,639,000	使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	22,196,000	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	11,085,000	県支出金	664,700	地方債		その他	3,172,000	一般財源	15,202,980	【事業目的】 - 重要伝統的建造物群保存地区に選定された、稲荷山地区の伝統的な建造物等の修理、修景事業に補助を行い、環境整備を図る。 - 令和5年3月策定の「稲荷山重伝建地区まちづくりデザイン」により、稲荷山地区活性化の拠点となる施設の整備を進める。 【実績】 - 伝統的建造物等の修理事業として、清水家主屋等、3件の事業に補助を行った。 - 重伝建地区防災計画策定に向け、地区の現状と課題を把握するための追加調査を工学院大学に委託して行った。 - 産業振興課と連携し、「稲荷山活性化につながる提案力を持つ企業マッチング事業」を実施し、企業の視察ツアー等で提案をいただいた。 【成果等】 - 修理修景事業の実施により、伝統的な建造物が本来の姿を取り戻し、地区の環境整備に寄与した。 - 平成27年度から実施してきた本事業による修理修景物件は延べ20件（修理17件、修景3件）となった。 - 企業マッチング事業の視察ツアーには、延べ18社の参加があり、蔵し館やふる里漫画館の新たな活用方法について提案があった。 【今後の方向性】 - 重伝建地区の環境整備を図るため、引き続き伝統的建造物等の修理修景事業を進める。 - 保存計画に掲げた稲荷山地区の活性化を図るためには、地区住民の意見を反映した施設整備、活性化策の検討と実施が必要である。
決 算 額 (円)																																																			
30,124,680																																																			
節 別 内 訳 (円)																																																			
報酬	69,300																																																		
給料、職員手当等	5,987,300																																																		
報償費																																																			
旅費	233,080																																																		
需用費																																																			
役務費																																																			
委託料	1,639,000																																																		
使用料及び賃借料																																																			
工事請負費																																																			
原材料費																																																			
公有財産購入費																																																			
備品購入費																																																			
負担金、補助及び交付金	22,196,000																																																		
扶助費																																																			
補償、補填及び賠償金																																																			
公課費																																																			
財 源 内 訳 (円)																																																			
国庫支出金	11,085,000																																																		
県支出金	664,700																																																		
地方債																																																			
その他	3,172,000																																																		
一般財源	15,202,980																																																		

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	名勝姨捨整備事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	----------	------	-----------

基本目標Ⅱ 施策Ⅱ－1

事業費	主要な施策の成果等																																																		
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">3,543,870</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>2,721,500</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td>44,100</td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>24,240</td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>110,000</td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td>644,030</td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td>750,000</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>2,793,870</td></tr> </table>	決 算 額 (円)		3,543,870		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員手当等	2,721,500	報償費	44,100	旅費	24,240	需用費		役務費		委託料	110,000	使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費	644,030	備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他	750,000	一般財源	2,793,870	【事業目的】 - 日本遺産の主要な構成文化財であり、名勝並びに重要文化的景観に指定されている「姨捨の棚田」での耕作を維持、保存するための整備を行う。 【実績】 - 令和4年3月策定の「姨捨の棚田」整備計画進捗管理を行うため、姨捨の棚田整備委員会を開催した。 - 令和5年8月に発生した豪雨による棚田畦畔の復旧工法について検討を行い、文化庁協議並びに整備委員会の了承を得た。 - 県道改良に併せた展望駐車場整備（ビューポイント整備事業）で、遊歩道用地として整備を行う箇所について買収を行った。 - 日本遺産推進室ほか関係各課と随時調整を行い、整備計画の進捗状況を確認した。 【成果等】 「姨捨の棚田」整備計画で予定している遊歩道用地を確保することができた。（A＝約400㎡） - 展望駐車場に整備を計画している便益施設（公衆トイレ等）の整備方針について、関係各課と連絡調整を行った。 - 災害復旧工事にあたっては、土被の畦畔である特徴を維持することのできる、新たな工法を採用することができた。 【今後の方向性】 - 姨捨の棚田での耕作を維持し、日本遺産の構成文化財として保存・活用を図るため、関係各課と連携し、整備計画に基づいた事業を実施していく。 - 展望駐車場内に必要な施設の検討、財源確保に努め、姨捨棚田での交流人口の増加をはかり、棚田耕作の維持を図る必要がある。
決 算 額 (円)																																																			
3,543,870																																																			
節 別 内 訳 (円)																																																			
報酬																																																			
給料、職員手当等	2,721,500																																																		
報償費	44,100																																																		
旅費	24,240																																																		
需用費																																																			
役務費																																																			
委託料	110,000																																																		
使用料及び賃借料																																																			
工事請負費																																																			
原材料費																																																			
公有財産購入費	644,030																																																		
備品購入費																																																			
負担金、補助及び交付金																																																			
扶助費																																																			
補償、補填及び賠償金																																																			
公課費																																																			
財 源 内 訳 (円)																																																			
国庫支出金																																																			
県支出金																																																			
地方債																																																			
その他	750,000																																																		
一般財源	2,793,870																																																		

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	武水別神社神宮松田邸管理運営事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	------------------	------	-----------

基本目標Ⅱ 施策Ⅱ－1

事業費		主要な施策の成果等	
決算額(円)		【事業目的】 - 市内に伝来した史資料の収集・保管・調査研究を行い、その成果を企画展や関連事業を通して地域に還元し文化伝承を図るとともに、地域の活性化及び市の観光拠点となる施設を目指していく。 【実績】 - 年間の入館者数 1,746 人（週 3 日開館） - 松田邸の周知を図るため、6 月～8 月の土曜日に展示資料と建物・敷地を学芸員が案内するガイドツアーを実施。 9 月 14 日の武水別神社の仲秋祭に合わせ、江戸時代の仲秋祭を記録した古文書のテーマ展示を実施(9/8～9/24、期間中入館者 64 人)。 - 開館記念として、大河ドラマに合わせて市内の戦国時代の古文書を展示する特別展を開催(11/24～12/24、期間中入館者 247 人)。 - 入館者の安全確保及び展示資料保全のため、監視カメラ設置工事を実施。 - 松田邸東側広場にかつて所在した八幡ハイヤーの看板及び解説パネルの設置工事を実施。 【成果等】 - 新規開館の松田邸の周知につながった。 - 古文書を知りたいという市民ニーズに応えることができた。 - 事務室と離れた展示室の様子を常時確認することができ、来館者の安全確保を図れた。 - 入口広場への看板設置により来館者の興味関心を引き、集客を図ることができた。 【今後の方向性】 ○ガイドツアーは引き続き実施し、通常非公開の部分も案内することで付加価値を付けて松田邸の一層の周知を図る。 ○武水別神社の大頭祭・仲秋祭等の祭事当日は臨時開館の上、祭事に合わせた季節展示を実施し、参拝客の呼び込みにつなげる。 ○アンケート意見等も踏まえ、市民の興味関心を引く企画展を開催し、集客を図る。 ○古文書講座等を実施し、古文書に興味関心を持つ市民の需要に応える。 ○古民家の雰囲気を残す隠居屋を活用し、七夕やお月見などの年中行事イベントを実施することで、特に親子層の集客を図る。	
16,844,334			
節別内訳(円)			
報酬	1,080,030		
給料、職員手当等	3,956,195		
報償費	60,000		
旅費	45,700		
需用費	1,951,276		
役務費	100,800		
委託料	3,293,432		
使用料及び賃借料	44,051		
工事請負費	6,095,100		
原材料費			
公有財産購入費			
備品購入費	167,750		
負担金、補助及び交付金	50,000		
扶助費			
補償、補填及び賠償金			
公課費			
財源内訳(円)			
国庫支出金	1,882,000		
県支出金			
地方債	1,600,000		
その他	274,000		
一般財源	13,088,334		

令和5年度 主要な施政の成果に関する説明書

事業名	第9回千曲川ハーフマラソン	担当課名	スポーツ振興課
-----	---------------	------	---------

基本目標Ⅰ 施策3－1

事業費		主要な施策の成果等									
決算額(円)		【事業目的】									
16,250,195		・健康増進、市の魅力発信、交流人口増加に向けたスポーツイベントの取り組みと千曲市誕生 20 周年を祝い記念事業として実施する。									
節別内訳(円)		【実績】									
報酬		・参加者									
給料、職員手当等	4,354,400	種目					募集定員	申込者数	市内	県内	県外
報償費		ハーフマラソン					1,500 名	1,538 名	188 名	1,140 名	210 名
旅費		ファミリーマラソン					100 組	58 組	10 組	45 組	3 組
需用費								126 名	22 名	98 名	6 名
役務費											
委託料		・小学生と保護者を対象としたファミリーマラソンの部（2 km）を新設。									
使用料及び賃借料		・千曲川ハーフマラソン実行委員会へ 12,200 千円を負担金として支出。（内 20 周年記念分 1,800 千円）精算時に 304,205 円を戻入。									
工事請負費		・スポーツ振興くじ助成金を活用（助成上限額 800 万円）。									
原材料費		・大会ゲストとしてオリンピック金メダリスト小平奈緒さん参加。									
公有財産購入費		・一重山太鼓、冠着太鼓、キューティーアングズチアリーディングチームによる沿道でのランナー応援を実施。									
備品購入費		・姨捨棚田米のおにぎり、更級みそを使用した豚汁を参加者に配布。									
負担金、補助及び交付金	11,895,795	・参加者、ボランティア等運営スタッフに市内 8 施設の日帰り温泉無料入浴券を配布。（利用率 61％）									
扶助費		【成果等】									
補償、補填及び賠償金		・ハーフマラソンの部は定員を超えるエントリーとなった。									
公課費		・ファミリーマラソンでは、親子でスポーツをするきっかけづくりとなった。									
		・参加ランナーを対象に QR コードを読み取りスマートフォンで 11 項目に回答するアンケート調査を実施（回答率 29.2％）。									
		・アンケート結果では、大会について満足・どちらかといえば満足との回答が 83％、来年も参加したい・できれば参加したいとの回答は 97％であった。									
財源内訳(円)		【今後の方向性】									
国庫支出金		・物価高騰や人件費高騰が進んでいるなか、限られた予算での運営が必須となるが、参加者増加のため、参加費の値上げは極力抑えサービス（参加賞の T シャツ、おにぎり、豚汁、温泉券）の質を維持していく必要がある。									
県支出金		・千曲市の特色を活かし、参加したくなる、満足してもらえる大会を実施していく。									
地方債											
その他	8,000,000										
一般財源	8,250,195										

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	給食センター管理運営事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	--------------	------	------------

基本目標Ⅰ 施策1-2

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">284,921,528</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td>27,275,536</td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>4,347,972</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>554,900</td></tr> <tr> <td>需用費</td><td>233,013,156</td></tr> <tr> <td>役務費</td><td>1,312,365</td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>16,203,680</td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td>1,941,619</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td>154,000</td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td>25,600</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td>92,700</td></tr> </table>	決 算 額 (円)		284,921,528		節 別 内 訳 (円)		報酬	27,275,536	給料、職員手当等	4,347,972	報償費		旅費	554,900	需用費	233,013,156	役務費	1,312,365	委託料	16,203,680	使用料及び賃借料	1,941,619	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費	154,000	負担金、補助及び交付金	25,600	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費	92,700	【事業目的】 管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。 【実績】 給食提供 8校（小学校5校、中学校3校） 給食総数 2,977食 給食日数 206日（センター稼働日） アレルギー対応給食該当者 72名 栄養教諭による食教育 28回 学校給食訪問回数 6回 学校集会講話 2回 千曲市学校給食センター運営委員会 1回 千曲市食物アレルギー対応専門部会 1回 学校給食担当者会議 6回 児童のセンター見学 0回 PTA等による施設見学 2回 親子試食会 19回 職場体験学習（更埴西中学校） 1回（3日間） - 児童、生徒の心身の発達・体位向上を図るため、衛生管理に配慮し、食育の推進、食物アレルギー対応食など安全・安心な食材を使って栄養バランスのとれた、給食の提供を行った。 - 新型コロナウイルス、インフルエンザの感染防止措置による学年・学級閉鎖等に伴う給食数の変更に対応した。 - 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰による賄い材料費の増加分について、1食あたり15円の公費負担を行った。 【成果等】 - 栄養教諭、栄養士、調理従事者の努力により、安全な給食を提供することができた。 - 学校給食訪問等を実施し、児童生徒に食への関心や理解を深めてもらうことができた。 - アレルギー対応栄養士により食物アレルギー対応食の提供を適切に実施することができた。 - R5 地域食材使用率 45.86% （千曲市産 35.48%、県内産 10.38%） - 残菜量 16.6 kg/日 （前年度 17.2 kg/日、5年平均 16.5 kg/日） 【今後の方向性】 - 衛生管理の徹底と工夫、設備・機械器具類の適切な維持管理等により安全な給食の提供に努める。 「学校における食物アレルギー対応の手引き」に沿った、安全な食物アレルギー対応食の提供。 - 地域食材の活用と利用率の向上を図る。
決 算 額 (円)																																							
284,921,528																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬	27,275,536																																						
給料、職員手当等	4,347,972																																						
報償費																																							
旅費	554,900																																						
需用費	233,013,156																																						
役務費	1,312,365																																						
委託料	16,203,680																																						
使用料及び賃借料	1,941,619																																						
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費	154,000																																						
負担金、補助及び交付金	25,600																																						
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費	92,700																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>8,338,000</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td>174,434,572</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>102,148,956</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	8,338,000	県支出金		地方債		その他	174,434,572	一般財源	102,148,956																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金	8,338,000																																						
県支出金																																							
地方債																																							
その他	174,434,572																																						
一般財源	102,148,956																																						

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	学校給食徴収事務事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	------------	------	------------

基本目標Ⅰ 施策1－2

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">3,179,520</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td>1,337,844</td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>241,063</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>24,000</td></tr> <tr> <td>需用費</td><td>71,013</td></tr> <tr> <td>役務費</td><td>217,400</td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td>1,288,200</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		3,179,520		節 別 内 訳 (円)		報酬	1,337,844	給料、職員手当等	241,063	報償費		旅費	24,000	需用費	71,013	役務費	217,400	委託料		使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	1,288,200	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 教員の業務負担を軽減する働き方改革の一環として、これまで学校で行っていた給食費の徴収事務を第1学校給食センターに移行する。 市内小中学校13校（児童4161人、教職員等448人）の給食費徴収事務 【実績】 給食費徴収システムにより市が直接給食費の徴収を行っている。 定期徴収者の状況 口座振替による納入 約3,050件/月 納付書による納入 約10件/月 就学援助や生活保護等による公金振替での給食費納入者 約410件/月 現年分調定金額（令和5年度） 第1学校給食センター 174,319,573円 第2学校給食センター 95,868,177円 （収入済額） 第1学校給食センター 174,111,438円 第2学校給食センター 95,708,887円 （収入未済学） 第1学校給食センター 208,135円 第2学校給食センター 159,290円 【成果等】 令和3年から市が一括して給食費の徴収を行っている。 令和4年から就学援助対象者については全額市が給食費を負担することとした。 これにより保護者が給食費を納付する負担や手間が軽減し、市が再振替する件数や督促状を発送する件数も減少した。 再振替件数 R3 約100件/月→R5 約73件/月 督促状発送件数 R3 約70件/月→R5 約40件/月 また、催告書を3回発送し、納入を依頼した。 （11月・2月・4月） 【今後の方向性】 長期滞納者の中には通知や電話、訪問をしても直接連絡が取れない者もいる。 学校には担当者会議の時に未納者の情報を共有しているが、未納の解消に向けてどう連携をしていくかが課題である。
決 算 額 (円)																																							
3,179,520																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬	1,337,844																																						
給料、職員手当等	241,063																																						
報償費																																							
旅費	24,000																																						
需用費	71,013																																						
役務費	217,400																																						
委託料																																							
使用料及び賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金	1,288,200																																						
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>3,179,520</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,179,520																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	3,179,520																																						

令和5年度 主要な施策の成果に関する説明書

事業名	給食センター管理運営事業	担当課名	第2学校給食センター
-----	--------------	------	------------

基本目標Ⅰ 施策1－2

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">177,420,256</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td>16,181,632</td></tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td><td>2,286,377</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>315,500</td></tr> <tr> <td>需用費</td><td>122,821,009</td></tr> <tr> <td>役務費</td><td>934,069</td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>6,471,403</td></tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td><td>2,824,166</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td>4,818,000</td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td>20,687,700</td></tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td><td>25,100</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td>55,300</td></tr> </table>	決 算 額 (円)		177,420,256		節 別 内 訳 (円)		報酬	16,181,632	給料、職員手当等	2,286,377	報償費		旅費	315,500	需用費	122,821,009	役務費	934,069	委託料	6,471,403	使用料及び賃借料	2,824,166	工事請負費	4,818,000	原材料費		公有財産購入費		備品購入費	20,687,700	負担金、補助及び交付金	25,100	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費	55,300	【事業目的】 管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。 【実績】 給食提供 5校（小学校4校、中学校1校） 総給食数 1,611食 給食日数 204日（センター稼働日） アレルギー対応給食該当者 42名 栄養教諭による食教育 1回 学校給食訪問 24回 全校集会講話 1回 学校給食担当者会 5回 児童のセンター見学 2回 PTA等による施設見学・試食 2回 親子給食会 2回 職場体験学習（戸倉上山田中学校） 1回（2日間） ・児童、生徒の心身の発達・体位向上を図るため、衛生管理に配慮し、食育の推進、食物アレルギー対応食など安全・安心な食材を使って栄養バランスのとれた、給食の提供を行った。 ・新型コロナウイルス、インフルエンザの感染防止措置による学年・学級閉鎖等に伴う給食数の変更に対応した。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰による賄い材料費の増加分について、1食あたり15円の公費負担を行った。 【成果等】 ・栄養教諭、栄養士、調理従事者の努力により、安全な給食を提供することができた。 ・学校給食訪問等を実施し、児童生徒に食への関心や理解を深めてもらうことができた。 ・アレルギー対応栄養士により食物アレルギー対応食の提供を適切に実施することができた。 ・R5地域食材使用率 50.9% （千曲市産 40.32%、県内産 10.58%） ・残菜量 17.6kg/日 （前年度 17.7kg/日、5年平均 15.8kg/日） 【今後の方向性】 ・衛生管理の徹底と工夫、設備・機械器具類の適切な維持管理等により安全な給食の提供に努める。 ・「学校における食物アレルギー対応の手引き」に沿った、安全な食物アレルギー対応食の提供。 ・地域食材の活用と利用率の向上を図る。
決 算 額 (円)																																							
177,420,256																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬	16,181,632																																						
給料、職員手当等	2,286,377																																						
報償費																																							
旅費	315,500																																						
需用費	122,821,009																																						
役務費	934,069																																						
委託料	6,471,403																																						
使用料及び賃借料	2,824,166																																						
工事請負費	4,818,000																																						
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費	20,687,700																																						
負担金、補助及び交付金	25,100																																						
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費	55,300																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>4,714,000</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td>16,300,000</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>95,859,317</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>60,546,939</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	4,714,000	県支出金		地方債	16,300,000	その他	95,859,317	一般財源	60,546,939																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金	4,714,000																																						
県支出金																																							
地方債	16,300,000																																						
その他	95,859,317																																						
一般財源	60,546,939																																						

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」） 一覧

4 成果指標

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」） （教育関係抜粋）

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ、生涯学びのまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
2	【教育】 一人ひとりの個性を尊重し、生きる力を育む教育環境をつくる	基礎学力の定着度 (国語、算数・数学)	「全国学力学習状況調査」における教科別の平均正答率の、全国・長野県との比較	上昇 ↗	(小学校) 各教科、全国・長野県と同程度	令和3年度	各教科、全国・長野県と同程度 (100.7%)	令和4年度	各教科、全国・長野県をやや下回る (95.1%)	令和5年度	各教科、全国・長野県を上回る	令和8年度	100.7%	94.3%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②(国語)図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 (算数)割合、分数、百分率、比例などを関連させながら理解を深める学習に課題がある。 ③学力向上推進委員会にて各校の課題を共有し、取り組みを支援する。	教育総務課	継続的な全国規模の調査により基礎学力の定着度を表す	全国学力学習状況調査結果	B
					(中学校) 各教科、全国・長野県と同程度	令和3年度	各教科、全国・長野県と同程度 (100%)	令和4年度	各教科、全国・長野県と同程度 (96.7%)	令和5年度	各教科、全国・長野県を上回る	令和8年度	100.0%	96.7%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②(国語)二つの文章を比較して表現の効果を考える問題に課題がある。 (数学)図(箱ひげ図)から分布の特徴を読み取る問題に課題がある。 ③学力向上推進委員会にて各校の課題を共有し、取り組みを支援する。	教育総務課	継続的な調査により基礎学力の定着度を表す	全国学力学習状況調査結果	B
		家で、自分で計画を立てて勉強している	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) 79.4 %	令和3年度	72.5 %	令和4年度	76.6 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	91.3%	96.5%	順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②家庭での学習で、何をどう進めていこうかが具体的にない面がある。 ③「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の内容や習慣化について指導、家庭学習につながる授業の工夫・改善を行う。	教育総務課	継続的な調査により学習習慣の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
					(中学校) 63.4 %	令和3年度	61.6 %	令和4年度	57.2 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	97.2%	90.2%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②家庭での学習で、何をどう進めていこうかが具体的にない面がある。 ③「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の内容や習慣化について指導、家庭学習につながる授業の工夫・改善を行う。	教育総務課	継続的な調査により学習習慣の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
		自分にはよいところがある	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) 81.2 %	令和3年度	79.4 %	令和4年度	87.4 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	97.8%	107.6%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②学校の先生と温かく良好な関係を築いていく必要がある。 ③様々な場面で自己有用感を持たせる指導・授業に取り組む。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
					(中学校) 78.2 %	令和3年度	81.8 %	令和4年度	83.1 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	104.6%	106.3%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②学校の先生と温かく良好な関係を築いていく必要がある。 ③様々な場面で自己有用感を持たせる指導・授業に引き続き取り組む。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
		将来の夢や目標を持っている	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) 82.9 %	令和3年度	86.5 %	令和4年度	82.2 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	104.3%	99.2%	順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②キャリア教育やふるさと学習の計画的な推進。 ③キャリアパスポートに自分の成長を記録していく。	教育総務課	継続的な調査により将来に関する意識の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
					(中学校) 73.1 %	令和3年度	67.6 %	令和4年度	68.6 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	92.5%	93.8%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②キャリア教育やふるさと学習の計画的な推進。 ③キャリアパスポートに自分の成長を記録していく。	教育総務課	継続的な調査により将来に関する意識の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
		学校に行くのは楽しい	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) 86 %	令和3年度	88.5 %	令和4年度	87.9 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	102.9%	102.2%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②「好き」と思ってもらえるような授業が重要。 ③よく分かる授業、その教科の面白さが実感できる授業の工夫・改善を行う。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
					(中学校) 85.3 %	令和3年度	85.8 %	令和4年度	82.4 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	100.6%	96.6%	順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②「好き」と思ってもらえるような授業が重要。 ③引き続き、より分かる授業、その教科の面白さが実感できる授業の工夫・改善を行う。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

		住んでいる地域の行事に参加している	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 75.3	令和3年度	81.2 %	令和4年度	78.6 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	107.8%	104.4%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②コロナの影響で地域の行事が中止されたり縮小されたりしている。 ③キャリア教育の充実コミュニティスクールの推進により、地域や社会に関わる機会や体験の機会を増やす。	教育総務課	継続的な調査により地域や社会に関わる活動の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
		食材の地場産物使用度	地場産物の範囲を県内産とした食材数ベース	上昇 ↗	(中学校) % 72.4	令和2年度	68.2 %	令和4年度	57.7 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	94.2%	79.7%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②コロナの影響で地域の行事が中止されたり縮小されたりしている。 ③キャリア教育の充実コミュニティスクールの推進により、地域や社会に関わる機会や体験の機会を増やす。				
3	【生涯学習】 学びと交流を進め、人生を豊かにする	公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数	公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数	上昇 ↗	18,958 人	令和元年度	11,593 人	令和4年度	14,399 人	令和5年度	24,000 人	令和8年度	48.3%	60.0%	やや低調	①各公民館、図書館、生涯学習係で市民向けに各種講座を実施。 ②コロナ禍以降の市民向け講座の内容の検討 ③引き続き市民向け講座の内容を充実させて、生涯学習を推進する。	生涯学習課	生涯学習の場の提供状況を表す	実施状況報告などにより把握	A
		「生涯学習人材バンク」新規登録人数	「生涯学習人材バンク」新規登録人数	上昇 ↗	2 人	令和2年度	0 人	令和4年度	0 人	令和5年度	5 人	毎年度	0.0%	0.0%	低調	①専門知識や特殊技能を持つ千曲市民を希望する方に紹介をして地域づくりに役立ててもらうことを目的として実施。 ②事業の認知度が低いため周知方法が課題。 ③事業の認知度を上げるため市のHPやSNSで事業の周知を図る。	生涯学習課	生涯学習のための講師人材登録者数を表す	実登録者数をカウント	A
4	【スポーツ振興】 スポーツを通じ、心身の健康と活力あるまちを目指す	千曲川ハーフマラソンへのエントリー者数	千曲川ハーフマラソンへのエントリー者数	上昇 ↗	1,640 人	令和元年度	1,485 人	令和4年度	1,664 人	令和5年度	2,000 人	令和8年度	74.3%	83.2%	順調	①新たにファミリーの部(2km)を設け、参加者増を図った。姨捨棚田米のおにぎり、更級みその豚汁を参加者に配布し、地元特産物をPRした。 ②参加者からは高い満足度が得られている一方、参加者の9割が県内からの参加者であり、より広域を目指した交流人口の獲得が課題。 ③市出身の観光大使とタイアップしたPRによる知名度の向上、温泉等の地域の資源を生かした大会の更なる魅力度向上と交流人口の増加を図る。	スポーツ振興課	スポーツイベントの開催による交流人口の増加に対する指標	大会参加申込者の集計による	A
		成人の運動実施率	20歳以上の市民1,000人にアンケートを行い、週に1回以上運動をしていると回答した人の割合	上昇 ↗	43.8 %	平成30年度	46.1 %	令和4年度	44.5 %	令和5年度	65.0 %	令和8年度	70.9%	68.5%	やや低調	①市スポーツ協会と連携しスポーツ振興を目的とした活動を支援するとともに、スポーツを行う環境の整備・提供を目とした取り組みを行った。 ②運動したい希望はあるが、場所や機会等の条件が合わず運動できていない人へのきっかけづくりをいかに行うかが課題である。 ③従来のスポーツよりもより参加へのハードルの低いニュースポーツの普及啓発、スポーツ推進委員や地域のスポーツ団体と連携しスポーツへの機会の提供等を通じきっかけづくりに取り組む。	スポーツ振興課	健康運動の普及と推進の取組状況を表す	市民アンケートの集計による	A

基本目標5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度	R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率計算法
1	【歴史・文化財】 歴史・文化的遺産の保全・活用を進め、文化都市を形成する	文化財保護事業実施件数(累計)	市民、文化財所有者による文化財保護に取り組んでいる活動を示す件数	上昇 ↗	4 件	令和3年度	5 件	令和4年度	7 件	12 件	令和8年度末までの累計	41.7%	58.3%	順調	①市指定文化財等の修理等、2件に補助を行った。 ②指定文化財の修理等に関しては、前年度以前に相談を受けて予算化を図る必要があるため、実施に時間がかかる。 ③引き続き、指定文化財等保護の周知を図っていく。	歴史文化財センター	指定等文化財保存に対する市民の取組状況を表す	指定等文化財保護事業に対する補助金交付件数	A
		国・県・市指定等文化財件数	国・県・市指定等文化財件数	上昇 ↗	149 件	令和3年度	150 件	令和4年度	150 件	154 件	令和8年度末までの累計	97.4%	97.4%	順調	①市指定文化財諮問物件の調査を、市文化財保護審議委員に依頼した。 ②専門的な知識を持つ学識経験者による調査に時間がかかる。 ③諮問物件の調査を進め、文化財指定を行っていく。	歴史文化財センター	文化財保護の取組状況を表す	指定等文化財件数	A
		博物館・史跡公園の入館(場)者数	森將軍塚古墳館・さらしなの里歴史資料館・城山史跡公園の年間入館(場)者数	上昇 ↗	25,350 人	令和2年度	33,504 人	令和4年度	31,116 人	35,000 人	令和8年度	95.7%	88.9%	やや低調	①企画展や歴史講座を開催し、入館者の増を図った。 ②少子化や感染リスク等により入館者数の伸びが期待できない状況である。 ③企画展、講座、イベント等、魅力ある取り組みを実施し、入館者の増を図る。	歴史文化財センター	文化財施設の活用状況を表す	森將軍塚古墳館、さらしなの里歴史資料館、城山史跡公園の入館(場)者数	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

2	【景観形成】 まち全体が調和された、景観の美しいまちをつくる	建造物修理・修景の件数	稲荷山伝建地区の建物修理・修景件数	上昇 ↗	修理 11 件	令和2年度	15 件	令和4年度	17 件	令和5年度までの累計	25 件	令和8年度までの累計	60.0%	68.0%	順調	①伝統的建造物修理事業として新規2件の修理事業に補助金交付を行った。 ②稲荷山重伝建地区の伝統的建造物は規模の大きなものがあり、単年度で修理が完了しないものがある。このため、複数年度で事業を実施せざるを得ない建物が増えている。 ③引き続き、伝統的建造物の修理に補助を行っていく。	歴史文化財センター	歴史的まちなみ保存への市民の取組状況を表す	稲荷山重伝建地区における建造物等修理・修景事業への補助金交付延べ件数	A
					修景 3 件		3 件		3 件		7 件		42.9%	42.9%	低調	①修景事業の相談、申請はなかった。 ②修景事業に対する補助制度の周知が不十分。 ③制度の周知と取り組みを呼び掛けていく。				
4	【伝統文化】 伝統的な行事や生活文化を次代に伝承する	神楽保存会数	市内の神楽保存会数	維持 →	30 団体	令和2年度	30 団体	令和4年度	30 団体	令和5年度	30 団体	令和8年度	100.0%	100.0%	目標達成	①保存会活動を停止したところはなかった。 ②高齢化により存続が難しくなっている団体がある。 ③民俗文化財として指定の検討を進め、保護対策を講じる。	歴史文化財センター	地域の伝統芸能に対する保存・伝承の状況を表す	市内の神楽保存会の数	A
	【文化芸術】 豊かな心を育む文化芸術のまちをつくる	更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の利用者数	各館のイベント入場者・貸館利用者の合計	上昇 ↗	176,210 人	平成30年度	91,627 人	令和4年度	125,712 人	令和5年度	180,000 人	令和8年度	50.9%	69.8%	やや低調	①「20周年記念事業」として市全体で施設を活用した多くの事業を実施。 ②人口減少や地域コミュニティの希薄化によりイベント入場者数・貸館利用者ともに減少が見込まれ、入場者数の伸びが期待できないこと。 ③魅力あるイベントの開催や情報の周知を図り、利用者の増加に取り組む。	文化課	文化施設の活用状況を表す	毎年度利用実績値の積算	A
		更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の自主事業の件数	各館が自主事業として行ったイベントの件数	上昇 ↗	17 件	平成30年度	23 件	令和4年度	25 件	令和5年度	20 件	令和8年度	115.0%	125.0%	目標達成	①「20周年記念事業」を中心に例年と比べ多くの事業を実施した。 ②少子高齢化等により自主事業参加団体の減少が見込まれること。 ③引き続き参加団体へのサポート等、継続的な事業実施に向けた取り組みを行う。	文化課	文化芸術活動の取組状況を表す	毎年度の主催、共催事業件数の積算	A
		更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の自主事業の来場者数	自主事業23件の来場者数の合計	上昇 ↗	9,073 人	平成30年度	6,202 人	令和4年度	8,667 人	令和5年度	10,000 人	令和8年度	62.0%	86.7%	順調	①「20周年記念事業」を中心に多くの事業を実施し、来場者数の増加を図った。 ②自主事業参加団体の減少に伴い、関係者の来場も減少が見込まれること。 ③イベントの周知や新規参加団体の獲得に向け取り組みを行う。	文化課	文化芸術活動の取組状況を表す	毎年度の主催、共催事業来場者数の積算	A
		稲荷山宿・蔵し館、ふる里漫画館、アートまちかどの入場者数	各館の入場者・貸館利用者の合計	上昇 ↗	12,510 人	令和元年度	9,669 人	令和4年度	10,666 人	令和5年度	15,000 人	令和8年度	64.5%	71.1%	やや低調	①多くの企画展を実施し、来場者数の増加を図った。 ②稲荷山宿・蔵し館、ふるさと漫画館の活用が不十分。 ③情報の周知に仕組み入場者数の増加を図る。	文化課	文化施設の活用状況を表す	毎年度利用実績値の積算	A
5	【多文化共生】 個性や互いの文化を理解し、共に生きるまちをつくる	千曲万博の入場者数	千曲万博の入場者数	上昇 ↗	430 人	令和元年度	400 人	令和4年度	600 人	令和5年度	600 人	令和8年度	66.7%	100.0%	目標達成	①コロナ禍によって中断していた飲食の再開や、キッチンカーを呼んだことで集客につながり、多文化共生への理解を深めることができた。 ②目標は達成したものの市民への周知が課題。 ③周知方法を見直し、より多くの市民の皆さんが参加出来るようにする。	生涯学習課	多文化共生事業への参加状況を表す	実入場者数をカウント	A

基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
2	【自然との共生】 ふるさとでの自然を守り、人と自然が共生するまちをつくる	自然体験学習会参加者数	自然体験学習会参加者数	上昇 ↗	38 人	令和元年度	44 人	令和4年度	51 人	令和5年度	50 人	毎年度	88.0%	102.0%	目標達成	①萬葉の里スポーツエリア周辺の砂礫河原で自然体験学習会を開催 ②千曲川河川事務所との連携 ③水辺の楽校での開催についても検討していく	生涯学習課	自然体験を通じた環境学習への参加者数を表す	実参加者数をカウント	A

基本目標7 一人ひとりが輝く、協働で創るまち

【達成率計算式】

- A … 実績値/目標値（指標値の増加を目標とする指標、現状維持を目標とする指標（ほか））
- B … 実績値/基準値（目標値が「基準を上回る」としているもの（ほか））
- C … 1-（実績値/基準値）（発生しない状態(0)を目標としているもの）
- D … 目標値/実績値（指標値の減少を目標とする指標）

5 外部評価での意見・提言とそれに対する考え

(1) 地域クラブ活動体制整備事業

■意見・提言

- ①千曲坂城クラブは、全国・長野県に先だった取り組みであり、非常に素晴らしい。自信をもって続けていただきたい。先日の森將軍塚まつりで、「歴史科学専門部」の生徒が、みんな仲良く生き生きと活動をしていた。これは一つの学校ではなく、いろんな触れ合いができる良さではないかと思う。ただ、その際に保護者から送迎で困っているという声があった。保護者に負担がかからないような方向で検討いただきたい。(意見のみ)
- ②令和8年度に平日の活動も完全地域移行になると、活動場所への移動が一番の問題となる。平日は保護者の送迎も不可能だと思われる。令和8年4月まで1年弱しかない。送迎・指導者の報酬の部分も含めて、運営委員会、専門部事務局会議などで真剣に検討していただきたい。(答弁あり下記②)
- ③令和5年度の指導者登録数が178名とあるが、令和6年度の状況は。(答弁あり下記③)
- ④教員の負担は減るのも大事だが、子どもたちの活動する機会が減り、集団での活動のあり方を少し違う観点から捉えなければいけない時代に来たと思う。個々や仲間で練習して、全体としては週1回という形や自分の学校で少し決められた時間に練習をやらせてもらう環境を作り、部分的にうまく組み合わせるなど、生徒や保護者などいろいろな人の意見を聞きながら進めてもらえればもう少し柔軟な形で捉えられると思う。(答弁あり下記④)
- ⑤令和8年度の完全移行に向け、運動系、文化系の活動を考えていただき、保護者として感謝している。運営委員会で現役の生徒から意見も聞くなどして様々な課題を揉んでいただき、地域や行政の方達と私たち保護者ができることを考えていきたい。(意見のみ)
- ⑥子どもが千曲坂城クラブで活動しているが、他校と練習することにまだ、子ども同士も壁があるのかなと感じる。そのような壁も今後なくなっていけばいいと思う。保護者としてはやはり送迎のことで、まだ小さい子がいる、近い他校での練習に自転車で行っているが帰りは暗くなるので心配といったこともあるので、皆さんのお力を借りて、よい方向にいけるように私も協力していきたい。(意見のみ)

●教育委員会の考え

- ②送迎は、原則として保護者の送迎を基本としているが、令和5年度から一部の専門部で学校間移動にバス・タクシーでの移動を実施した。他の専門部からも要望はあるが、全ての専門部の要望どおりに学校間移動した場合には相当な費用が必要となる。今後、平日活動が増えていくと指導者への謝金も増加し、また、大会出場や練習試合等の指導者への旅費なども考えると多くの財源が必要になってくる。令和7年度は国の補助金を見込むが、令和8年度以降は不透明である。現在、年会費として3,000円をいただき運営をし、クラブだよりでも周知しているところであるが、令和8年度の完全移行に向けて、年会費の改定について事務局、運営委員会で検討している。今後も様々な機会を通じて国や県に補助金継続の要望はしていくが、で

きるだけ保護者の負担が大きくなるよう運営委員会・専門部事務局会議などで検討していく。(教育総務課)

③令和6年度の指導者登録数は、現在 246 名で、そのうち約3割は希望により登録していただいている教職員で、それ以外は地域指導者である。(教育総務課)

④本事業の推進にあたっては、これまでも保護者や生徒にアンケートを実施するなどして意見などをお聞きしている。今後も必要に応じてアンケートをおこなったり、重要な事項については説明会等で説明責任を果たしていくことは重要だと考えている。また、運営委員会には、PTAや運動部系・文化部系の専門部事務局の代表の方、本年度から生徒代表男女2名の方にも参加いただいて子どもの意見も反映をしていくということで進めてきている。新規事業ということで、手探りな部分もあるが、安心、そして安定した運営をしていくためにもいろいろなご意見をお聞きしながら学校間移動や財源確保など、課題を解決しながら進めていきたい。

(教育総務課)

(2) 千曲市誕生20周年記念事業 (生涯学習課)

■意見・提言

①「千曲かるた」について、課題等で「千曲かるた」の普及及び販売促進とあるが、厳しいと思う。宇和島市や射水市との児童交流の際に、お土産などとして渡していくことで、千曲市のことが広まっていくと思う。(意見のみ)

(3) 千曲市誕生20周年記念事業 (文化課)

■意見・提言

①千曲市全体を盛り上げていくためには、どういう人を呼びたいか、そういった助走の段階から市民も関わるのも一つと思いました。(意見のみ)

(4) 名勝姨捨整備事業 (歴史文化財センター)

■意見・提言

①千曲市に大学が来る、学部は農学部との話がある。棚田の事業に参加してもらうなど、タイアップする企画を考えていただきたい。(意見のみ)

(5) 武水別神社神官松田邸管理運営事業費 (歴史文化財センター)

■意見・提言

①「地域の活性化及び市の観光拠点となる施設を目指していく」とあるが、他県で、何かを工夫したことにより、それがインスタ映えすると情報が広がり、特に外国人の観光客が増え、またそこから情報が広がり観光客が増えているという実態がある。何かのきっかけにより、またインターネットなどうまく活用することで、さらに松田邸が広まっていくと思う。(意見のみ)

(6) 給食センター管理運営事業（学校給食センター）

■意見・提言

- ①千曲市は地域の食材が活用されている。現在、食材の高騰している中、給食費を無償化という話があるが、財政を考えた時に、現実になるのか、見通しはあるのか。

(答弁あり下記①)

●教育委員会の考え

- ①給食数ですが、第1学校給食センターで約3,000食以上、第2学校給食センターで約1,500食以上になり、食材を大量に使用します。地産地消に取り組んでいますが、食材の量の確保、品質の統一、露地物は天候に左右されることもあり、調達には難しい面もあります。給食費の段階的な無償化をしていくことについては、大きな財源が伴います。その方向性につきましては、市全体の協議によるものと考えます。また、現在、給食費の支払いが困難と認められる家庭に対しては、就学援助制度により実費相当分の支援をしております。(第1学校給食センター)

(7) その他

■意見・提言

- ①千曲川ハーフマラソンでは、市の特産品として棚田のお米、更級みそを使った市の特産品のPRをしているようですが、市の川東には、あんず、なめたけ、市全体ではワインを促進するなど食品の特産品を総合的にカタログや案内冊子配布により横断的に宣伝できると千曲市を知ってもらえることにつながり、いろんな意味で活力になるのではないかと思います。(意見のみ)
- ②千曲市の特産物を横断的にアピールすることで、千曲市の良さを多くの人に知ってもらうことができる。特産物のアピールや販売促進について独自でおこなっていることがあれば伺いたい。(答弁あり下記②)
- ③第2次千曲市教育振興基本計画後期計画の成果指標にある学力調査は、教科書や授業などの勉強の学力指標だと思うが、勉強だけでなく、実際には世の中で使えるというか、子どもたち自らが進んでおこなう総合的な活動の中での学力というような、もう一つの指標も今後必要ではないか。(答弁あり下記③)
- ④保護者や児童生徒とさまざまな意見交換をして、その結果を学級の中で話し合い、みんなで取り組むこともできればよいのでは。1人1台端末も配布されているので、学校の中で、「これやりたいことの掲示板」、保護者版、生徒版みたいなものがあってもよいのでは。(答弁あり下記④)
- ⑤ボランティア活動をしている方から、ボランティア活動(学習支援)の時間の枠が30分という中では、準備を入ると実質20分程度の活動になってしまう。実りのあるものにしたいが時間が短いと感じる。このような現状があるそうです。(答弁あり下記⑤)
- ⑥千曲っ子教育ビジョンの成果指標にある不登校児童生徒の在籍比について、やはり、人は、いろんな考え方があって、ズレがあって場合によっては、いろんないざこざがあり、心が不安定になる状況から、不登校が生れてしまうと思う。教育委員会だけの問題ではなく、人は元々みんな一緒ではないので、ズレの中からどのように共有点だとか、交えながら生活していくのか、そのあたりも考えながら、今後進めていってほしい。(意見のみ)
- ⑦「千曲かるた」について、小規模でもよいので大会などを開催し、皆さんに馴染んでいただくことも一つかと思う。(意見のみ)

●教育委員会の考え

- ②イベント等での市のPR的なことだと思いますけれども、教育委員会単独ではなかなかそのような販売促進的な事業はしておりませんが、ご意見等は、経済部など関係セクションへ、伝える事案があれば伝えてより多くのPRができるようにしていきたい。
(教育長)
- ③学力に対するいろいろな考え方があることは承知しておりまして、ここの第2次教育振興基本計画後期計画に載ってる指標については、主に全国学力学習状況調査の結果が指標になりやすいなという観点で掲載しています。目に見える学力、狭い範囲での学力っていうのではなくて、やはり数字上に表せないような子どもたちの力をとにかく伸ばしていかななくてはいけないと思っております。この点はなかなか指標に表すことは難しいと考えます。全国学力学習状況調査のデータを一つの参考資料として、それを突破口として、自分の学校としてはどうすれば一番良いのかというようなことを各学校、話し合っていて取り組んでいるところです。(教育長)
- ④現在、タブレットを使いそのようなことは行ってる現状であります。一つの例として、中学校では、朝生徒たちが学校に来たときに、その日の自分の気分を「晴れ」、「曇り」、「雨」などで、タブレットに打ち込むことをしています。先生がそれを把握して、今日はこの子は、こういう気分にいるんだな、ということを理解した上で、子どもたちを見えています。また、いろいろなツールを使いながら、保護者の声を聞く機会も増やしています。(教育長)
- ⑤学校もいろいろなことをやりながらのことになりますので、どうしても制約が出てきてしまいます。このあたりは何かご理解をしていただきながら、子どもと一緒にその時間の中で最大限ご支援をしていただける事が、一番ありがたいです。(教育長)

6 点検及び評価を受けて

千曲市教育振興審議会から、教育委員会が行った主要施策について意見・提言をいただき、教育委員会としての考えを明確にしました。

教育委員会の所管は、学校教育、学校給食、生涯学習、国際交流、スポーツ、文化・芸術、歴史・文化財と多岐に及びます。今年度の「点検及び評価報告」を基に、P(計画)・D(実行)・C(評価)・A(改善)サイクルを確立し、事業の選択と集中を進めることにより、一層効率的な事務執行に努めてまいります。

また、「点検及び評価報告」の議会への報告及び市民への公表は、教育委員会事務の説明責任を求められたものであり、本制度により教育委員会の基本方針をより分かりやすく、丁寧に説明をしてまいりたいと考えています。

7 資 料

(1) 教育長・教育委員

役 職 名	氏 名	住 所
教 育 長	小 松 信 美	羽 尾
教育長職務代理者	中 村 洋 一	若 宮
委 員	松 田 祐 子	八 幡
委 員	新 海 敦 子	小 島
委 員	吉 味 淳	栗 佐
委 員	若 林 直 美	上山田

(令和6年3月31日現在)

(2) 令和5年度 教育委員会基本方針

教育分野の最上位計画である「教育振興基本計画」は、現在、令和10年度までの10年間で計画期間として推進をしているところです。

令和5年度は、前期5か年の計画が終了することから、これまでの取り組みを検証し総括するとともに、令和4年度を初年度とする「第三次千曲市総合計画」や、現在改定中である「教育大綱」との整合性を図りながら、新たな「教育振興基本計画」の策定に取り組めます。

■教育総務課

子どもたち一人ひとりが将来において、その可能性を開花させ、自らの人生を幸福に過ごすことができるための基礎力を身につけさせることが教育の役割です。

学校教育は、「GIGA スクール構想の充実」「ふるさと学習の推進」「不登校支援の充実」を学校教育の3本柱として掲げました。

1点目の「GIGA スクール構想の充実」は、これまでの2年間で、一人一台端末の活用が、着実に推進されていることから、児童生徒が自ら問題解決する力を高めるコンピュータ活用を進めます。

2点目の「ふるさと学習の推進」では、ふるさとに誇りと愛着を抱く教育として、キャリア教育や千曲型コミュニティスクールの視点も取り入れ、地域資源である「人・もの・こと」を活用した学習に取り組めます。

3点目の「不登校支援の充実」では、学校・教育支援センター・教育相談室を中心に関係機関との連携を図りながら、個に寄り添った支援を行うとともに、教育支援センターの充実など児童生徒にとっての安心な居場所づくりに努めます。

教育環境では、五加小学校において、今後の各年度の学級編制の推移により、教室数の不足が見込まれることから、令和5年度より教室棟増築工事に着手します。完成は令和6年度を予定しておりますが、安全で快適な学習環境を整えるために、一日も早い完成を目指して進めます。

また、地域クラブ活動体制整備事業では、少子化が進展するなかで、学校だけで部活動を存続させていくことや、専門性や意思に関わらず先生が顧問を務めるこれまでの体制を継続していくことは困難となってきたことから、国は中学校の部活動を学校から地域へ移行する方針を決定しました。

このようなことから、千曲市では坂城町とともに「千曲坂城クラブ」という新たな地域クラブを立ち上げ、すべての子どもたちが将来にわたり豊かなスポーツ・文化芸術活動に親しむ環境を保障できるように体制の整備を進めます。

まずは、令和5年度からの3年間は、休日の部活動を段階的に「千曲坂城クラブ」での活動に移行していきます。

■生涯学習課

市民一人ひとりが自己を高め、生きがいを創出し、心豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習は大きな役割を果たしています。

生涯学習は、学校教育のみならず、乳幼児から高齢者まで、その生涯にわたって自らの意志により、いつでも、どこでも、だれでもが自由に行われる継続的な学習活動であり、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができるよう、体制を整えていく必要があります。さらには、その学びの成果が、社会や地域に適切に生かされるよう環境の整備をしていくことも大切です。

そのため、「第二次千曲市生涯学習基本構想・基本計画」（令和元年度から10年）に基づき、社会の変化に即した学習内容の提供など、計画に盛り込んだ施策を着実に推進します。また、市民の学習ニーズに応えるため、公民館では事業の充実を図ります。図書館でも施設整備を行うとともに、市民の教養、生涯学習の拠点として自由で親しみのある図書館づくりに努め、利用者の要望、時代の変化に対応した図書館サービスの推進、資料の提供を行います。

家庭での教育は原点であり全ての教育の出発点であることから、「家庭教育支援条例」に基づき、家庭の教育力向上のため、学校、地域、事業者、行政等、その他市民皆で家庭教育を支えていくことを目指します。また、子どもたちの放課後の安全・安心な生活や活動

の場を確保するために、子どもたちと地域の人たちが触れ合える機会を創出する、遊び場や学習の場づくりなどを一体的に進めます。

多文化共生社会の実現に向けては、異文化理解の推進や外国籍市民への支援、国際感覚豊かな人材の育成等を進めます。

■スポーツ振興課

スポーツ振興事業は、「第二次千曲市スポーツ推進基本計画（計画期間：令和元年度（2019年度）から10年間）」に掲げる「市民みなスポーツ」の実現に向け、「千曲市スポーツ推進委員」「NPO 法人千曲市スポーツ協会」「総合型地域スポーツクラブ」などのスポーツ関係団体や地域密着型プロスポーツチームと連携し、市民がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができるよう、生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自立的にその適性及び健康状態に応じて行なえる環境整備を進めるとともにスポーツツーリズムを推進し、地域の特色を活かしたイベントの開催や施設整備を行います。

令和10年度に長野県を主会場として開催されることが内々定している第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会に向け、開催準備を進めるとともに、大会に対する県民・市民の関心を高め、大会を盛り上げる機運を醸成します。

体育施設運営については、長期的な視野に立ち、施設のあり方を検討するとともに、現在管理運営する施設について、指定管理者制度や市民協働、受益者負担などの考え方を研究しながら、更に合理的で経済的な運営方法を検討します。なお、安心して社会体育施設を利用いただくため、令和3年度より非構造部を含む施設の耐震化を順次進めており、令和5年度は戸倉体育館の耐震化工事に着手します。

また、総合運動公園構想については、白鳥園周辺の整備・活性化や市民の健康促進、各種スポーツ施設の整備など、総合運動公園基本構想策定方針及び戸倉体育館周辺の活用方針を踏まえ令和4年度に策定が完了したことから、構想実現に向けた様々な課題を整理するとともに、財源や官民連携（PPP/PFI）による整備手法の調査検討を進めます。

■文化課

文化芸術は、心の豊かさやゆとりを実感できる市民生活を実現していく上で不可欠なものと言えます。そして、その振興は地域経済の発展や観光振興とも密接に関連し合い、活力と潤いのあるまちづくりに繋がるものとして「第3期千曲市文化芸術振興基本計画」（令和4年度（2022年度）から5年間）では、「豊かな風かよう 文化の薫り立つまち」を基本理念とし、基本目標と施策を掲げています。基本目標や将来像の実現に向けて具体的に事業を推進し、文化芸術の振興を図ってまいります。

千曲市誕生 20 周年記念事業では、市にゆかりのあるアーティスト等によるコンサートの開催など、市民の皆様が本市により一層の愛着を持ち、親しみと楽しさを享受できる事業を展開してまいります。

中学校部活動の地域移行では、すべての子どもたちが将来にわたり豊かな文化芸術活動に親しむ環境を保障できるように、「千曲坂城クラブ」での休日の部活動を後押ししてまいります。

文化施設については、公共施設個別施設計画に基づき、計画的に施設の整備及び適正管理に努め、令和 5 年度は更埴文化会館、稲荷山宿・蔵し館、アートまちかどの長寿命化に対応した工事及び設計業務等を行います。特に、令和元年東日本台風災害の復旧工事を終えた更埴文化会館については、スプリンクラー設備の不具合改善に向けて、特定天井の耐震化と併せて着実に取り組んでまいります。

■歴史文化財センター

文化財は、まちの歴史や文化を正しく理解するためにはなくてはならないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎となるものです。また、その価値が損なわれると回復ができない、貴重な国民共有の財産です。

千曲市の貴重な文化財を守り、今後活用を図っていくため「千曲市文化財保存活用地域計画」の作成を行いました。本計画は、文化財や歴史遺産の取り扱いに際して保護を重視しがちだった従来の方針に加え、新たに活用視点に当たった歴史文化行政の推進を図ることとしています。

日本遺産「月の都 千曲」の主要な構成文化財である、重要文化的景観「姨捨の棚田」をはじめ、重要伝統的建造物群保存地区に選定された稲荷山の町並み整備など、指定文化財の保存・継承と歴史的建造物の保護を図るとともに、千曲市の歴史・文化的な魅力を幅広く情報発信します。

松田家主屋等については、令和 5 年 3 月に博物館施設である「千曲市武水別神社神官松田邸」として開館しました。武水別神社の神官を代々勤めてきた松田家に伝来した古文書をはじめとする貴重な文化財を継承していくため、企画展等を開催してまいります。

また、博物館等における講座・講演会などを通して文化財保護意識の啓発・育成を進めると共に、文化財施設や史跡公園等の適正管理に努めます。

■学校給食センター

学校給食については、衛生管理やアレルギー対応に細心の注意を払い、安全で安心な給食の提供に努めるほか、学校給食を「生きた教材」として活用し、望ましい食生活や地産地消の意識が身につくよう食育を推進します。

また、老朽化している施設・設備等については、業務継続のために必要な維持管理と改修・更新を適切に行い、長寿命化を図ります。

(3) 令和5年度 教育委員会議及び議決案件一覧

①委員会の開催状況 定例会12回 臨時会1回

②委員会の議決事項

年月日	議案・報告・専決 番号		議 案 名
第1回定例会 (R5. 4. 26)	議 案	1	千曲市教育支援委員の委嘱について
		2	千曲市総合教育センター企画運営委員会委員の委嘱について
		3	千曲市公民館運営審議会委員の委嘱について
		4	千曲市文化会館運営委員会委員の委嘱について
		5	千曲市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について
		6	千曲市文化財保護審議会委員の委嘱について
		7	千曲市文化財調査員の委嘱について
		8	令和5年度教育施設工事・修繕計画調査書について
	報 告	1	令和5年4月13日千曲市総合運動公園等に関する特別委員会報告について
		2	令和5年度外国語指導助手の学校配置について
		3	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」2022年度実施報告書
		4	教育長、部・課長報告について
		5	行事の共催・後援について
		6	5月の各課の行事予定について
第2回定例会 (R5. 5. 24)	議 案	9	千曲市公民館副館長の任命について
		10	千曲市立図書館協議会委員の任命について
		11	千曲市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
		12	千曲市歴史民俗資料館建設調査研究委員会設置要綱を廃止する告示について
		13	千曲市体育施設条例の一部を改正する条例制定について
		14	千曲市少年育成センター補導委員の委嘱について
		15	県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について
	専 決	1	職員の処分について
		2	専決処分事項方向について（令和4年度千曲市一般会計（第9号補正）教育関係予算について）
	報 告	7	令和4年度千曲市家庭教育支援条例に基づく支援施策の報告について
		8	令和5年5月12日市議会総務文教常任委員会報告について
		9	教育長、部・課長報告について
		10	行事の共催・後援について
		11	6月の各課の行事予定について

第3回定例会 (R5. 6. 28)	議案	16	千曲市教育振興審議会委員の委嘱について
		17	千曲市教育振興基本計画策定委員の委嘱について
		18	第二次千曲市教育振興基本計画並びに千曲っ子教育ビジョンの策定に関わる諮問について
	専決	3	令和5年度千曲市奨学生の決定について
	報告	12	更埴地区小中学校教科用図書採択研究協議会及び調査研究会の設置について
		13	令和5年6月千曲市議会定例会報告について
		14	教育長、部・課長報告について
		15	行事の共催・後援について
第4回定例会 (R5. 7. 26)	議案	19	千曲市立学校管理規則の一部を改正する規則について
		20	令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について
	報告	17	教育長、部・課長報告について
		18	行事の共催・後援について
		19	8月の各課の行事予定について
第5回定例会 (R5. 8. 23)	議案	21	令和5年度千曲市一般会計（第3号補正）教育関係予算について
		22	千曲市公民館分館建設事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について
		23	千曲市生涯学習推進本部設置要綱の一部を改正する告示について
		24	千曲市学校給食センター管理規則の一部を改正する規則について
		25	千曲市学校給食センター運営委員会規程の一部を改正する訓令について
		26	千曲市教育振興審議会設置要綱の一部を改正する告示について
		27	千曲市文化芸術振興計画策定委員会設置要綱の一部を改正する告示について
		28	千曲市教育支援委員会設置要綱の一部を改正する告示について
		29	千曲市アートまちかど運営委員会設置要綱の一部を改正する告示について
		30	千曲市教育振興基本計画策定委員会要綱の一部を改正する告示について
		31	千曲市スポーツ振興懇話会設置要綱の一部を改正する告示について
		32	令和5年度千曲市五加小学校教室棟増築事業建築主体工事請負契約の締結について
	専決	4	職員の処分について
	報告	20	令和5年7月31日千曲市総合運動公園等に関する特別委員会報告について
		21	教育長、部・課長報告について
		22	行事の共催・後援について
		23	9月の各課の行事予定について
第6回定例会 (R5. 9. 27)	議案	33	千曲市水辺の楽校運営委員会委員の委嘱について
		34	令和5年教育施設工事・修繕計画調書について

	専決	5	職員の内申について
	報告	24	令和5年8月22日市議会総務文教常任委員会報告について
		25	令和5年9月千曲市議会定例会報告について
		26	教育長、部・課長報告について
		27	行事の共催・後援について
28		10月の各課の行事予定について	
第7回定例会 (R5. 10. 25)	議案	35	千曲市生涯学習推進本部員の委嘱について
	専決	6	令和5年度千曲市一般会計（第5号補正）教育関係予算について
	報告	29	令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について
		30	令和5年10月10日市議会総務文教常任委員会・千曲市総合運動公園等に関する特別委員会連合審査会報告について
		31	教育長、部・課長報告について
32		行事の共催・後援について	
33		11月の各課の行事予定について	
第8回定例会 (R5. 11. 22)	議案	36	令和5年度教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和4年度実績）
		37	令和5年度千曲市一般会計（第6号補正）教育関係予算について
		38	千曲市スポーツ振興懇話会委員の委嘱について
	報告	34	令和5年10月千曲市議会臨時会報告について
		35	令和5年11月14日市議会総務文教常任委員会報告について
		36	千曲市立図書館の図書館資料の利用に関する要綱の一部を改正する告示について
		37	教育長、部・課長報告について
		38	行事の共催・後援について
		39	12月の各課の行事予定について
		第9回定例会 (R5. 12. 20)	議案
40	第二次千曲市生涯学習基本計画の一部改訂に関わる諮問について		
報告	40		令和5年12月千曲市議会定例会報告について
	41		教育長、部・課長報告について
	42	行事の共催・後援について	
	43	1月の各課の行事予定について	
第10回定例会 (R6. 1. 31)	議案	41	千曲市歴史文化財センター条例の一部を改正する条例制定について
	報告	44	令和5年12月25日千曲市総合運動公園等に関する特別委員会報告について
		45	教育長、部・課長報告について
		46	行事の共催・後援について
		47	2月の各課の行事予定について

第11回定例会 (R6. 2. 21)	議案	42	第二次千曲市教育振興基本計画（後期計画）（案）について
		43	千曲っ子教育ビジョン（案）について
		44	第二次千曲市生涯学習基本計画改定（案）について
		45	令和6年度小・中学校学級編制届出書の提出について
		46	千曲市立学校の学期について
		47	令和5年度千曲市一般会計（第9号補正）教育関係予算について
		48	令和6年度千曲市一般会計教育関係当初予算について
		49	千曲市少年育成センター補導委員の委嘱について
		50	千曲市立学校職員安全衛生管理規程の一部を改正する訓令について
		51	千曲市小中学校中間教室設置要綱の一部を改正する告示について
		52	千曲市立学校職員の勤務時間等に関する規定の一部を改正する訓令について
		53	千曲市教育委員会文書取扱規則の一部を改正する規則について
		54	千曲市立学校文書取扱規程の一部を改正する訓令について
	報告	48	令和6年2月7日市議会総務文教常任委員会報告について
		49	教育長、部・課長報告について
		50	行事の共催・後援について
		51	3月の各課の行事予定について
第12回臨時会 (R6. 3. 6)	議案	55	令和6年度教職員人事の内申について
	専決	7	職員の処分について
第13回定例会 (R6. 3. 27)	議案	56	令和6年度教育行政の基本方針について
		57	千曲市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について
		58	千曲市公民館正副館長の任命について
		59	千曲市社会教育委員の委嘱について
		60	千曲市スポーツ推進委員の委嘱について
		61	職員の人事について
	報告	52	令和6年度千曲市教育委員会施設長について
		53	令和6年2月19日総合運動公園等に関する特別委員会報告について
		54	令和6年3月千曲市議会定例会報告について
		55	教育長、部・課長報告について
		56	行事の共催・後援について
		57	4月の各課の行事予定について

(4) 教育委員会事務分掌（「令和5年度教育要覧」から）

事 務 局		(R5. 4. 1 現在)	
教育総務課	総務係	教育行政に係る企画及び連絡調整 教育財産管理 奨学金の貸与 学校医の委嘱 寄附採納 表彰及び褒賞 物品及び公印の取扱い・文書の収受 教育委員会の庶務関係 姉妹都市児童交流事業 部・課の庶務関係	教職員の任免、内申その他人事 教育振興基本計画の進行管理 教育行政相談 教育委員会の組織及び会議 教育委員会の広報公聴 職員の人事と給与 教育予算の調整と経理 規則の制定改廃 教育委員会の会議
	学 校 教 育 係	教科用図書の採択関係 中学校部活動改革 学校の組織編成及び学校運営 教育課程関係 学齢簿の整理 児童生徒の就学 学校職員の研修 生徒指導関係 情報教育、国際理解教育、小学校外国語活動 不登校対策、その他教育相談、就学相談等（教育相談室） 学校職員及び児童生徒の福利、保健安全厚生 キャリア教育の推進及び支援 千曲型コミュニティスクールの推進及び支援	就学援助 教職員住宅管理 学校予算及び財務会計 学習指導、教育活動 特別支援教育 義務教育関係補助金 教科書給与事務 外国語指導助手の任用
	教 育 施 設 係	学校の設置及び廃止、財産の管理 学校施設及び学校財産の維持管理 学校施設及び設備の整備、修繕 学校環境衛生	学校改築、大規模改造工事 教職員住宅解体、撤去

生涯学習課	生涯学習係	生涯学習基本構想・基本計画の推進 生涯学習の専門的事項等の調査研究等 水辺の楽校の運営 社会教育委員及び同会議 社会教育施設の設置、整備、管理、廃止、財産の管理 学校教育と社会教育の連携 公民館、図書館との連絡調整 生涯学習人材バンクの整備 青少年事業の推進 青少年対策に係る施策の企画及び連絡調整 子どもの居場所づくり事業 地域未来塾事業 多文化共生に係る事業 原体験の森宿泊研修施設の管理運営 坊城平いこいの森施設の管理運営	生涯学習推進本部の庶務 生涯学習出前講座事業 生活運動の推進 社会教育団体の育成 家庭教育支援事業の推進 公民館分館建設事業補助金 少年育成センター事業の推進 青少年教育団体との連絡調整 放課後こども教室事業の推進 国際理解・国際交流に係る事業の推進 東京オリンピックホストタウン事業の推進
スポーツ振興課	スポーツ振興係	社会体育及びスポーツ振興 体育大会、スポーツ教室等の開催と奨励	スポーツ団体等の育成指導 レクリエーション等の企画立案指導
	施設整備係	社会体育施設の維持管理運営 社会体育施設・緑地公園内体育施設・学校体育施設予約システム管理運用 災害復旧事業	緑地公園内体育施設等の維持管理運営
	国民スポーツ大会準備係	第 82 回国民スポーツ大会に関する各種調査とりまとめ、報告 第 82 回国民スポーツ大会、第 27 回全国障害者スポーツ大会の啓発 ボッチャ競技の普及、審判員の育成支援	
学校給食センター	管理係	物資の調達及び経理 所要栄養量、食品構成表及び献立作成並びに各種報告 学校給食の向上に必要な調査及び指導、研修 調理、衛生管理及び検食の指導	施設整備及び労務管理並びに衛生管理 学校給食費徴収事務
	調理係	調理指導及び衛生指導 配送計画及び指示 調理用機械設備、器具類の維持管理	調理班の指導監督及び給食調理 物資の検収、管理及び保管 アレルギー給食対応
文化課	文化振興係	文化芸術振興事業計画及び実施 文化芸術団体及び関係機関等の連絡調整	文化施設等の管理運営 その他文化芸術の振興
歴史文化財センター	文化財係	文化財の調査、保護、活用 埋蔵文化財の調査、保存、活用 施設の管理運営	文化財保護審議会、文化財調査員等 所蔵資料の整理、活用 文化財収蔵施設の維持管理

教育機関・施設		
総合教育センター		児童生徒の教育にかかわる相談 教育相談に関する各機関との連絡 GIGA スクールの推進 教職員研修事業の実施 就学相談・就学判断 学力向上等教育課題の調査研究 教育課程の改善研究 施設の維持管理運営
公民館	業務係	社会教育事業の計画実施 生涯学習の推進 人権教育の推進 家庭教育支援事業の計画実施 社会教育関係団体との連絡 その他公民館活動の普及浸透 青少年健全育成事業
原体験の森宿泊研修施設		施設の管理運営
坊城平いこいの森		施設の維持管理
図書館	業務係	施設の維持管理 図書館協議会 図書資料の購入・利用事務 読書活動推進事業の企画運営 子ども読書活動推進事業の実施 読書相談、指導
戸倉創造館	業務係	施設の管理運営 文化芸術活動の支援 文化情報収集及び広報宣伝 舞台業務
更埴文化会館	庶務係	更埴、上山田文化会館の庶務
	業務係	施設の管理運営、自主事業の企画運営 文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務 屋代駅市民ギャラリーの展示運営
上山田文化会館	業務係	施設の管理運営、自主事業の企画運営 文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務
森将軍塚古墳館	学芸係	森将軍塚古墳館、科野の里歴史公園の管理運営
さらしなの里歴史資料館	学芸係	さらしなの里歴史資料館、古代体験パークの管理運営
武水別神社神官松田邸	学芸係	武水別神社神官松田邸の管理運営